

tetete 編集部がお送りする中部の情報コーナー。

鳥取中部で生きる「ひと」のお話

tetete

て〜いた〜

vol.021



ひと Voice

東京から鳥取に来た相撲女子。

今年の10月、倉吉市出身の横綱「琴櫻」の記念館が倉吉市東岩倉町にオープンしました。記念館の説明員としてやってきたのは、東京都出身の相撲が大好きな女性。そんな彼女にはじめて来た倉吉のこと、記念館のことを色々聞いてみました。



琴櫻記念館説明員

やすだ なみこ
安田 菜海子さん

写真：雲電型でポーズを決める安田さん

インタビュー

東京から倉吉に住むということ。劇的な生活の変化だと思うのですが、正直なところ倉吉ってどうですか？

倉吉に来て、約2ヶ月になりますが、「みんな親切」という印象が強いです。面接から、引越し、仕事始めと、日がながったのですが、こちらの方がふとんや自転車を買ってくれたり、ごはんをつくってわけてくれたりして、すぐに生活が始まりました。記念館でも、お茶やお芋や、野山の草花など、毎日差入れをもらったり、電気の配線を直してもらったりしています。

倉吉の人の目に写る「琴櫻」を知りたくて、突然チャイムを鳴らしたり、突然名刺を渡したり、上がり込んでお茶をいただいたりやりたい放題ですが、面識のない私にも倉吉の方々は親切に、かつうれしそうにたくさんお話を聞かせてくださるのです！そこがすごい！

そもそもこうやって記念館の立ち上げに関わる事自体が東京に住んでいたらできるとも思えなかったことだったんですけど、倉吉には、「なんかできるかも？してみる？」と人をその気にさせる空気が流れていると思います！ここは私には天国です。



ひと PROFILE
安田 菜海子さん
1984年生まれ。
東京都調布市出身。
早稲田大学教育学部卒業。
趣味は相撲。
夢は記念館の常設化。

琴櫻記念館

鳥取県倉吉市東岩倉町 2280
(倉吉淀屋主屋内)
[入館料] 無料
[休館日] 12/29～1/3
[開館時間] 9:00～17:00
[観覧期間] H23.10/23～H24.3/25

倉吉市出身の「第53代横綱琴櫻」。その業績と相撲への情熱を、次世代へ伝えようと、市指定文化財「倉吉淀屋」内に、記念館ができました。館内では琴櫻が所属・継承した佐渡ヶ嶽部屋をはじめ、皆様からお借りした化粧廻し・写真など、ゆかりの品、約40点を展示しています。ちよつと寒いです。ぜひご来館ください。

インタビュー

「裏起毛」は意外でした。自分は意識したことなかったです。最後の質問になりますが、安田さんが働く琴櫻記念館の事を教えてください。

まず覚えたのは中に着込むこと。倉吉の冬は寒いです。引越し当初の10月、コート・マフラー・手袋着用で、「今からそれでは冬が越せない」と笑われました。だからこの頃中に着込むことを勉強中です。ヒートテックにパジャマを重ね、タイツ・レギンス・ハイソックスを駆使して、吹きさらしの土間の受付でお待ちしています。「裏起毛」という言葉が好きになりました。あとは、バスに乗るとき用に小銭をとっておくようになったと思います。帰りの天気を見ようのうちに、打吹山の向こうの雲を見ようにもなりました。

インタビュー

周りが知らない人ばかり、なんだかワクワクしますね。次の質問ですが、倉吉で身についたことって何かありますか？